

学校の教育目標	・思いやりのある子 ・よく考える子 ・明るく健康な子
特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成することを目指す。
目指す子供像	・互いの人格を尊重し、正義と思いやりをもつ優しい子 ・自分の考えをしっかりとち、常に向上心をもって取り組む子 ・安全で健康な生活を心がけ、最後まであきらめずに実行する子
特別活動の重点目標	協力し合い、自分たちの学校生活を進んでよりよくしていこうとする態度や自己の生き方について考えを深め、自己を生かそうとする児童の育成を目指す。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級や学校における生活上の諸問題の解決や仕事の分担処理などを自主的に行うと共に、生活や学習への適応及び健康や安全な生活など心身の健康を増進し、健全な生活態度を身に付ける活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してより良い生活を築こうとする態度を育てる。	学校生活に関する諸問題を解決する活動、及び学校内の自分たちの仕事を分担処理する活動を自発的・自治的に行うことによって自主性と社会性を養い、個性の伸長を図る。	同好の児童が所属する集団生活が楽しく、豊かなものにしようとする意図の下に、共通の興味関心を追求する活動を自発的・自的に行うことによって自主性と社会性を養い個性の伸長を図る。	学校生活に秩序と変化を与え、集団への帰属感を深め、児童の心身の健全な発達を図り、学校生活を楽しく、豊かにしながら集団活動における望ましい態度を育てる。
指導の方針	○楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに尊重しよさを認め合えるような人間関係をはぐむために、低学年では仲良く助け合おうとする人間関係、中学年では協力し合おうとする人間関係、高学年では信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。 ○自己のよさや可能性を生かして楽しく豊かな「学級や学校の生活づくり」に参画できるような自発的、自治的な態度を育成する。	異年齢集団活動を通して、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にあこがれをもち、仲良く、協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を形成したり、集団の一員として自分の役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組んだりすることについて、児童自身が意識して努力したり、自らが主体的に取り組んだりするなどの自主的、実践的な態度を育成する。	学年や学級が異なる同好の児童が互いに協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を築くことができるようにするとともに、児童の興味・関心にかかわるよさや可能性について、多様な他者との人間的な触れ合いの中で認め合うことができるようにする。	全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにしたり、役割を担ってその責任を果たすことができるようにしたり、共に喜びや苦勞を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようにしたりするなど、望ましい体験的な活動が展開できるようにする。
主な活動内容	学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上を図り、健全な生活態度の生育に資する活動を行うこと。 ○学級や学校生活の充実と向上に関すること ○日常の生活や学習への対応及び健康や安全に関すること (話し合い活動、係活動、当番活動、集会活動)	学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 (1)委員会活動 代表・集会・保健・図書・放送・体育・給食・広報・環境 (2)児童集会 (3)きょうだい班活動	学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブに置いて、異年齢交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行う。 (1)クラブ活動 球技・バドミントン・科学・ものづくり・パソコン・陸上・手芸・ダンス・イラスト漫画・ボードゲーム・調理・演劇お笑い・動画・音楽 (2)クラブ見学 (3)クラブ発表	全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する定見的な活動を行う。 (1)儀式的行事 始業式・卒業式等 (2)文化的行事 鑑賞教室・音楽会等 (3)健康安全・体育的行事 運動会・交通安全教室等 (4)遠足・集団宿泊的行事 生活科見学・社会科見学・移動教室等 (5)勤勞生産・奉仕的行事 地域美化活動・ユニセフ募金活動等
配当時数	(1) 1, 2年20, 3~6年25単位時間 (2) 1, 2年15, 3~6年10単位時間	1~4学年10単位時間(集会6, 兄弟班遊び4) 5, 6学年21単位時間(集会6, 兄弟班遊び4, 各種委員会11)	13単位時間	儀式的行事1~3年6単位時間 4~6年17単位時間 文化的行事1・2年3単位時間 3~6年4単位時間 健康安全体育的行事15単位時間 遠足・集団宿泊的行事1~4年7単位時間 5, 6年20単位時間 勤勞生産奉仕的行事6単位時間
各教科	○各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に、学級会の仕方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	○各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に、学級会の仕方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにする。また、クラブ活動を通して、よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動や自分たちできまりをつくって守る活動、人間関係を形成する力を養う活動や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○儀式的行事:学校や地域の事象について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事:国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事:体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成する。 ○遠足・集団宿泊的行事:社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤勞生産・奉仕的行事:生活、社会などの学習を生かして、勤勞の尊さや生産の喜びを体得させ、地域を愛する気持ちやボランティアしようとする気持ちを培うことのできる体験を行う。
他の教育活動との関連	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲よく助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなで協力し合っ楽しく学級をつくることを、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	下学年は、自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をするを、上学年では、だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	4年生は、自分の興味・関心を追求し自発的に取り組むこと、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを、5・6年生は、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。	儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなで協力し合いよりよい校風をつくること、郷土や国を愛する心をつつこと、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつことを、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤勞生産・奉仕的行事では、地域や社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。
外国語活動	外国語活動・外国語で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。	外国語活動・外国語で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。	「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	外国語活動・外国語で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連や総合的な学習の時間に行われる社会とのかかわりを考える学習活動としての体験活動と勤勞の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤勞生産・奉仕的行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動において、環境促進事業団と連携を図り、身近に利用する公園の花の植え替え等の環境美化に寄与する。また、学校行事に協力する児童会活動として、運動会を行う際に敬老席を用意して地域の高齢者を招待する等、地域の福祉に携わる活動や仕事をしている人々の協力を得る活動などを行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域のお囃子や踊りなどの伝統芸能や文化と関連付けて、外部講師や地域の教育力を活用したりするなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。また、地域のスポーツ施設に向いて、地域のお年寄りによるチームと対戦することなどの活動も考慮する。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいうに、期日を考慮したり会場設営を工夫したりする等して、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤勞生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。
備考				